

# 広島市歯科医師会だより

一般社団法人広島市歯科医師会

第 122 号

(H29.6.14)

## 今月のトピックス

### 行事報告

平成 29 年度 広島市学校保健会総会・第 1 回理事会	1 ページ
平成 29 年度 第 1 回 救急蘇生研修会	2 ページ
平成 29 年度 第 1 回 歯周病予防普及啓発事業実行委員会	2 ページ
第 2 回 4 地区歯科医師会親善ゴルフコンペ	2 ページ
第 68 回 指定都市学校保健協議会	3 ページ
第 33 回 おくちの健康展 代表者会議(第 2 回)	3 ページ
第 33 回 おくちの健康展	4 ページ
支部だより	
中区支部	5 ページ
東区支部	6 ページ
西区支部	6 ページ
各部からの報告	
保険・医療対策部	7 ページ
地域歯科保健部	7 ページ
広報部	8 ページ
FM ちゅーピー	16 ページ
5 月定例理事会報告	16 ページ

## 行事報告

### 平成 29 年度 広島市学校保健会総会・第 1 回理事会

日時：5 月 9 日(火)午後 7 時  
場所：広島市役所 2 階「講堂」

標記会議が開催され、本会から川原正照会長、能美和基理事、有馬隆理事、香川次郎地域歯科保健部委員長が出席した。

総会では平成 28 年度の事業、決算など、平成 29 年度の事業計画、予算案などについて報告、説明が行われ、それぞれ承認された。引き続き開催された理事会では、今年度の普及振興事業（学校保健功労者表彰、学校保健研究物表彰など）、共催・後援事業（広島市学校保健大会）などについて説明が行われ、これらもすべて承認された。

市歯会は本市における学校保健の進展に貢献すべく、広島市学校保健会の事業に積極的に協力していくことにしている。



総会の様子

## 平成 29 年度 第 1 回 救急蘇生研修会

日時：5月10日(水)午後7時30分

場所：県歯会館2階「ハーモニーホール」

講師として貞森拓磨広島大学病院救急科（高度救命救急センター・集中治療部）准教授をお迎えして「もし治療中に患者さんが急変したら あなたはどうしますか？」と題して研修会を行った。今回の研修内容は第一回として最新のガイドラインに示された CPR の変更点に関する解説；具体的には胸骨圧迫継

続の重視、また、アナフィラキシーショック時のアドレナリン筋注など、すぐに対処できるようにわかりやすく解説していただいた。

会員・スタッフ計 100 名を超える出席者が熱心に聴講され盛会の内に研修会を無事終了した。



講演をする貞森拓磨准教授(左)と研修会の様子(右)

## 平成 29 年度 第 1 回 歯周病予防普及啓発事業実行委員会

日時：5月16日(火)午後7時

場所：県歯会館2階「市歯会大会議室」

標記の委員会が広島市及び市域の4地区歯科医師会（市歯会・安佐歯会・佐伯歯会・安芸歯会）からなる「8020 運動・歯周病予防推進協議会」を実施主体として開催された。まず開会後委員紹介があり、能美和基委員長の議事進行で宮城昌治広島市健康福祉局保健部保健医療課保健指導担当課長より、平成29年度歯周病予防普及啓発事業計画について報告がなされ、続いて協議に移った。協議では今年度の「ビューティフル歯ッション賞」についての協議が行われた。ビューティフル歯ッション賞は認定者に認定基準に応じた認定カードを交付し、認定者に喜ばれている全国で広島市だけがやっている事業である。広島市

域の先生方におかれましては、是非推薦歯科医院に登録してご協力をお願い頂きたい。



委員会の様子

## 第 2 回 4 地区歯科医師会親善ゴルフコンペ

日時：5月21日(日)午前8時10分

場所：「フォレストヒルズゴルフ&リゾート」

広島市域の歯科医師会である、市歯会、佐伯歯会、安佐歯会、安芸歯会の4地区歯会の親善を目的に、熊谷宏市歯会副会長世話人の

もと、さわやかなゴルフ日和の中、2回目の標記会が行われた。

今回は、丘陵でアップダウンが大きくトリッキーで戦略性の高いコースであった為、各参加者が苦戦を強いられる中、ダブルペリア方式で行われた。個人戦では新田栄治佐伯歯会会長が HDCP に恵まれ見事に 2 連続優勝、西村好一前安佐歯会会長が準優勝、両者とも安定したゴルフ内容であった。団体戦でも佐伯歯会が 2 連続優勝をかざった。市歯会メンバーは残念ながら下位を占める事となり、次回の奮起に期待する。

コンペ終了後は、懇親会場の「かに道楽広島店」へ場所を移し、4 地区の役員が連携のとれた会務執行を行おうと懇親を深めた。また、当日のゴルフ談義に花を咲かせつつ、次の健闘を誓い閉会となった。

本会からは、川原正照会長、熊谷宏副会長、椿田直也監事、歌野原実監事、瓜生賢理事、能美和基理事、橋岡優理事が参加した。次回は、秋頃に開催予定である。



プレー前の参加した 4 地区歯会のメンバー

## 第 68 回 指定都市学校保健協議会

日時：5 月 21 日(日)午前 9 時

場所：「ホテル・アゴーラリージェンシー堺」

標記協議会が、「生涯を通じて健康でたくましく生きる児童生徒を育成するため、指定都市学校保健関係者が当面する健康・安全の諸問題を研究協議し、学校保健の進展を図る。」という趣旨で開催された。

当日は開会式、全体協議会に続いて元ラグビー日本代表の大畑大介神戸製鋼コベルコスティーラーズアンバサダーにより、「根拠のない自信を信じろ！～根拠はおのずとついてくる～」と題する記念講演会が行われた。午後からは 4 分科会がそれぞれ以下の課題別協議題について協議を行った。

- ・ 第 1 分科会(健康教育)：子どもが主体的に健康の増進に取り組むための健康教育のあり方
- ・ 第 2 分科会(保健管理)：子どもの健やかな体を育むための保健管理のあり方
- ・ 第 3 分科会(心の健康)：子どもの豊かな心を育てるための組織体制や支援のあり方
- ・ 第 4 分科会(地域保健)：学校・家庭・地域の連携協働による学校保健活動の推進

筆者が参加した第 4 分科会では、学校歯科医による学校歯科保健調査の分析の報告の他に、学校薬剤師が取り組む「防煙教育」、医歯薬三師が連携して取り組む学校保健教育の報告などが行われた。小学生が「卑弥呼の歯がい～ぜ」を題材に劇を創作した事例や学校歯科医と学校薬剤師が防煙教育で連携する動きなど、ユニークな取り組みが多数報告された。質疑応答も活発に行われ、大変有意義な分科会となった。

なお、本会からは有馬隆地域歯科保健部理事が参加した。



参加した有馬隆地域歯科保健部理事

## 第 33 回 おくちの健康展 代表者会議 (第 2 回)

日時：5 月 26 日(金)午後 7 時 30 分

場所：県歯会館 2 階「市歯会大会議室」

標記の会議が、主催である市歯会、広島県歯科衛生士会、広島市歯科技工士会、広島県栄養士会と、共催の広島矯正歯科医会、協賛

のそごう広島店、株式会社モリタの出席のもとで開催された。谷巖範実行委員長の挨拶に続き、株式会社広テレイベンツから会場配置



や当日の諸注意等の説明が行われた。引き続き各セクションからの電源・照明・目隠し等の要望を交えて協議し、第33回「おくちの健康展」を滞りなく実行できるよう、当日に向けての最終確認を行った。最後に宮城昌治広島市健康福祉局保健部保健医療課保健指導担当課長の閉会の辞で閉会した。

「おくちの健康展」は毎年2千人以上の市民の方々と直接ふれあえ、公衆衛生普及啓発活動が行える大変貴重な機会であり、今後と

も我々は、お口から広島市民の健康の維持、向上に寄与していきたいと考えている。



会議の様子

## 第33回 おくちの健康展

日時：6月4日(日)午前10時

場所：そごう広島店本館「屋上」

毎年、歯と口の健康週間中に行われる市歯会の恒例の行事である「おくちの健康展」を本年も開催した。

今年度は第33回の開催となり、前回の第32回の開催と同様に開催スペースのリニューアルを行い、2,700人を超える市民が来場した。

今年も口臭チェック、顕微鏡で「むし菌菌」発見！、おくちの「細菌数」チェックの3ブースを市歯会が担当した。

直接体験することができるこれらのブースは長蛇の行列ができるほど大変人気があり、関心が高いことを肌で感じた。

また、歯科衛生士会、歯科技工士会、栄養士会、広島臨床小児歯科研究会、広島矯正歯科医会からそれぞれブースを出していただき、どのブースも大変盛況であった。

また、四国乳業の「選べる8020セット」とシャボン玉石けんの「手洗いせっけんバブルガード」「シャボン玉せっけんハミガキ」の抽選会や、それいけ！アンパンマンショー最新作「キリリッと参上！かつぶしまん」を3回上演し、多くの親子連れで賑わった。

抽選会の前には当日来場した8020達成者の表彰式があり、今年度は3名の表彰者に表彰状と記念品が授与された。

このイベントでは、地域歯科保健部委員だけでなく毎年新入会員に公衆衛生活動を知っていただくとの趣旨でお手伝いをお願いしており、本年度は7名の新入会員に出務していただいた。

この「おくちの健康展」は数千人の市民の方々と直接ふれあえ、公衆衛生普及啓発活動が行える大変貴重な機会である。

我々は今後とも市民の口腔の文化観の向上のため、総力を挙げて取り組んでいく所存である。



出務者集合写真

## 支部だより

### 中区支部

#### 江波地域包括支援センター主催「いきいき倶楽部」

日時：5月11日(木)午後1時30分

場所：「舟入公民館」

江波・舟入神崎地区住民を対象に介護予防教室が開催された。辰本将哉中区支部会員及

び地域歯科保健部委員が「いつまでも美味しく食べるために～歯科医師の立場から～」と

題して講演を行った。本講演はいきいき倶楽部と題した3部構成による第1部の講演にあたる。

講演では美味しく食事をするために必要な歯の本数を提示し、その後カリエス、歯周病の病態や進行過程を説明した。また歯周病と全身疾患の関係について、誤嚥性肺炎や認知症などを中心に説明した。食事をするためだけでなく、口腔の健康から生活習慣を見直し全身の健康へつなげる方法として、口腔ケアが重要であることを説明し、機能的セルフケアとしてパタカラ運動を中心にお口の体操を参加者全員で行い、お口の機能の向上について詳しく説明した。器質的セルフケアについては後日開催される第2部の講演にて行う予定である。

最後に節目年齢歯科健診や在宅訪問歯科健診など本会事業を紹介し講演を終えた。講演後、次回講演を行う村上千鶴広島県歯科衛生士会理事を紹介した、次回講演の際にも口腔

衛生指導が行われるため参加者も3部構成を楽しみにされていた。また介護予防に関わるアンケートを実施し、全員に記入していただいた。結果はほとんどの方がかかりつけの歯科医院で健診や歯科治療を受けており、全身的な健康状態も良好というものであった。アンケートを基に次回の講演につなげていきたい。

中区支部では市民に対して直接関わりをもてる講演を今後も続けていきたいと考えている。



講演をする辰本将哉中區支部會員

### 中区地対協主催 中区地域包括ケア推進フォーラム

「この街で最期まで安心して暮らすために～私たちができること～」

日時：5月21日(日)午前10時

場所：広島国際会議場「コスモス」

標記フォーラムが開催された。竹内啓祐広島大学客員教授、小坂内科医員院長が「この街で最期まで安心して暮らすために～私たちができること～」と題して基調講演を行った。

次に有田健一広島県地対協終末医療のあり方検討特別委員会委員長、三原赤十字病院呼吸器科医師が「豊かな人生とともにわたしの心づもりを考える～アドバンスケアプランニング～」と題して特別講演を行った。

その後「あなたの安心を支える～“在宅医療”ができること～」をテーマに森山薫広島赤十字・原爆看護副部長が「訪問看護ができること」、在宅療養中のご家族である吾郷栄子氏が「家族の立場から」、小松大造広島市中区支部会員、地域歯科保健部理事が「歯科医師ができること」、高橋浩一折口内科医院院長が「かかりつけ医ができること」を各自が示した後、竹内啓祐先生を座長にシンポジウムを行った。

在宅療養においてオーバーラップする部分は職種間で共有し、在宅療養チームとして連携することで専門職にスムーズに繋ぐこ

とができる。また、介護を担う家族も在宅療養チームに積極的に関与する事によって専門職のモチベーションが向上し、専門職との信頼関係が築け不明点や不安等の軽減に結びつく事ができる。何よりも介護を受ける方の最強のサポーターになる事により、できる限り住み慣れた地域で療養することができ、安心して暮らすことができるという事を会場で共有しシンポジウムを終了した。

本支部は地域包括ケアシステムの実現に向け今後も本事業への協力を行っていく所存である。



フォーラムの様子（左）とシンポジウムを行う小松大造地域歯科保健部理事（右）



## 第 20 回在宅医療・介護保険研修会

日時：5月29日(月)午後7時

場所：「大手町平和ビル5階」

標記研修会が中区医師会主催で開催され、中区の関係職種120名が参加した。伊藤欣朗 中区医師会理事による司会のもと正岡亨中区医師会会長の挨拶で開会した。

「高齢者を支える～多職種連携によるチームアプローチ～」を演題として、森山薫広島赤十字・原爆病院看護副部長同病院訪問看護ステーション所長が講演を行った。最初に広島赤十字・原爆病院訪問看護ステーションの紹介をし、医療・介護連携の現状を説明した。次に事例からの学びとして、看取りまでの6事例を紹介し、それぞれの問題点を示しその解決方法を提案した。どの事例でも本人の望む生活の実現を一番に考える事が大切であることを説明した。まとめとして、多職種連携においてお互いに専門職として尊重することにより「顔の見える関係」だけでなく「腹の

見える関係」を築くことで地域全体のレベルアップをしていくことが今後の地域包括ケアシステムの構築に繋がるとして講演を終えた。

最後に、貞岡達也中区医師会副会長の挨拶をもって閉会した。なお、この研修会には市歯会中区支部より、荒谷恭史氏、香川次郎氏、加藤千季氏、鎌田一道氏、上川克己氏、長崎昭憲氏、波田佳範氏、森田薫氏、門前弘美氏、南区支部より石川潔氏が参加した。



研修会に参加した中区・南区支部会員

## 東区支部

### ケアネット牛田

日時：5月26日(金)午後6時30分

場所：ひろしんビッグウエーブ「会議室」

広島市牛田・早稲田地域包括支援センター主催「ケアネット牛田」の介護予防をテーマとした全5回の勉強会の1回目として、地域歯科保健部能美和基理事が「介護予防のための口腔ケア」と題して39名の参加者に講演を行った。

講演では歯周病と全身疾患との関係や、歯の喪失がもたらす全身への影響から介護が必要になる危険性を説明し、口腔ケアの重要性、口腔機能の維持・向上の必要性を反復唾液嚥下テストなどの実習を交えて解説した。最後に歯周疾患に対する歯科医院への通院の有無による喪失歯数の差を示し、かかりつけの歯科医院への定期的な通院の必要性を説明し講演を終了した。

講演後は訪問看護師や介護職の方々から多くの質問があり、介護現場での口腔への関心が伺えた。

今後も地域からの講演依頼には積極的に対応していき、地域に密着した公衆衛生活動を行っていく予定である。



講演をする能美和基地域歯科保健部理事

## 西区支部

### 西区支部6月例会

日時：5月25日(木)午後7時30分

場所：西区己斐本町「木松旅館」

初夏を思わせる日差しが和らいだ夕刻に、参加者を前に田中亮三西区支部長の司会でま

ず報告事項として①支部活動報告、②会計報告、③その他、西区支部県歯会代議員、予備

代議員の選出について、および6月10日(土) 県歯会代議員会の質問事項についてが報告された。引き続き協議事項として新規開業申請についてが議題となった。

その後、西区地域保健対策協議会への歯科衛生士会の参加希望の伝達と伊藤茂氏からのパーキンソン病患者への対応の要請があり、最後に窪内信男西区副支部長の閉会の辞で終了した。



支部例会の様子

## 各部からの報告

### 保険・医療対策部

#### 教育資金一括贈与 受贈者が30歳に達した場合の手続

\*\*\*\*\*

教育資金を一括贈与した際の贈与税の特例の適用を受けている場合で、受贈者が30歳に達したときには教育資金管理契約が終了となります。

この場合で、その教育資金管理契約に係る非課税拠出額から教育資金支出額を控除した残額があるときは、その残額については、受贈者が30歳に達した日(教育資金管理契約が終了する日)の属する年の贈与税の課税価格に算入されることとなります。そのため、贈与税の申告が必要となり、適用される法令は、それらの日が属する年分に施工されている法令となります。

なお、教育資金管理契約が終了した日において取扱金融機関の営業所等に対してまだ提出していない領収書等は、その教育資金管理契約が終了する日の属する月の翌月末日までにその領収書等を提出しなければなりません。

\*\*\*\*\*

### 地域歯科保健部

#### 歯科保健指導用の教材について

地域歯科保健部

本会が所有する歯科保健指導用の教材をご紹介します。幼稚園・保育園～中学校での歯科保健指導にご活用ください。ご利用にあたっては、事務局に事前のお申込みが必要です。

	タイトル	出版社	対象	所要時間・収録時間	形式
1	歯を大切に1年生編	全教図	小学校1年生	約20分	PowerPoint ファイル + ポスター (PowerPoint 2010以降が 必要です。 Mac不可)
2	歯を大切に2年生編		小学校2年生		
3	歯を大切に中学年編		小学校中学年		
4	歯を大切に高学年編		小学校高学年		
5	歯を大切に中学生編 VOL①		中学生		
6	歯を大切に中学生編 VOL②				
7	みんなで歯みがきピカピカの歯	ライオン 歯科衛生 研究所	園児(年中・年長) とその保護者	園児用:28分55秒、 保護者用:13分38秒	DVD
8	かむことの大切さ		小学校5・6年生	26分43秒	

- ・1～6はPowerPoint だけでの実施も可能です(その場合はいつでもご使用いただけます)。
- ・上記教材の資料を本会HP会員用サイトに掲載しています。ご参照ください。
- ・「広島市歯科医師会だより120号」で紹介いたしました紙芝居もご活用ください。

今月の知っておきたいこと

リンク切れはご容赦を。  
記事の確認は自己責任にてリンク先でお願いします。  
最新記事はホームページにてご覧ください。

**▼収入の大きな病院はさらに収入が増加する傾向、病院の競争が激化—厚労省**

2015年度における医科病院の1施設当たり医療費の平均は26億円で、(前年度に比べて7800万円・3.1%増加)、バラつきがさらに大きくなっている。

こうした状況が、厚生労働省が19日に公表した2015年度版の「施設単位でみる医療費等の分布の状況～医科病院、医科診療所、歯科診療所、保険薬局～」から明らかになりました。

(以下 下記リンク先参照)

メディ・ウォッチ(2017年5月19日)

<http://www.medwatch.jp/?p=13769>

厚生労働省 トピックス(平成29年度)

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryuhoken/database/zenpan/topics\\_h29.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryuhoken/database/zenpan/topics_h29.html)

平成27年度施設単位でみる医療費等の分布の状況

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryuhoken/database/zenpan/dl/h29\\_0519\\_01.pdf](http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryuhoken/database/zenpan/dl/h29_0519_01.pdf)

**▼平成30年版歯科医師国家試験出題基準について**

厚生労働省(2017年5月20日)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000163627.html>

**▼サンスター株式会社、新製品発表会を開催／高濃度フッ化物配合の歯みがき剤「バトラー エフペーストα(アルファ)」新発売**

さる5月10日(水)、サンスター東京(東京都)において、サンスター株式会社(大阪府、金田善博代表)による新製品発表会が開催された。吉村孝志氏(サンスターグループオーラルケアカンパニーアジア／日本エリアプレジデント)の挨拶のあと、小峰陽比古氏(サンスターグループオーラルケアカンパニー研究開発部博士)により「フッ素活用による大人むし歯予防」と題してう蝕の仕組みなどが解説された。その後、梶山浩司郎氏(同マーケティング部バトラーブランドマネージャー)により新製品が発表された。

この度新発売の歯みがき剤「バトラー エフペーストα(アルファ)」は、フッ化物をサンスター社史上最大濃度1,450ppm配合。加えて薬用成分GK<sub>2</sub>(グリチルリチン酸2K)が歯肉炎などを予防し、薬用成分LS(ラウロイルサルコシンNa)がう蝕や口臭の原因菌を殺菌する特長を有している。同社は二次う蝕や根面う蝕など、40代以上の中高齢者に多いう蝕を一般向けに「大人むし歯」と定義し、大人むし歯の認知とフッ化物による予防の啓発を進めたいとした。また、すでに発売済みのバトラーエフシリーズのエフコート(洗口液)などを併用することにより、より一層のう蝕予防を目指す。5月15日(月)より全国のドラッグストアなどで発売予定。なお、高濃度フッ化物配合のため、6歳未満の子どもには使用できない。

さる3月17日(金)に、厚生労働省はフッ化物を配合した薬用歯みがきの上限を1,500ppm(0.15%)とする高濃度フッ化物配合の薬用歯みがきを医薬部外品として承認している。上限拡大をうけた後の初の高濃度フッ化物配合の歯みがき剤発売であり、今後市場にどのような影響があるのか動向を注目したい。

Quint Dental Gate(2017年5月19日)

<http://www.quint-j.co.jp/web/topic/topi.php?id=2179>



## ▼大麻所持の疑い また歯科医師逮捕

19日、大麻を所持していたとして、東京と横浜の歯科医師2人が逮捕された事件で、2人の知人の33歳の歯科医師が、自宅で大麻を所持していたとして警察に逮捕されました。警察は、ほかにも大麻を所持している歯科医師がいると見て捜査を進めています。この事件は19日、神奈川県内の同じ大学の歯学部を卒業した東京と横浜の歯科医師2人がそれぞれの自宅で大麻を所持していたとして逮捕されたものです。

警察のその後の捜査で、2人の知人で同じ大学の歯学部を卒業した東京・港区の歯科医師、田中良和容疑者（33）も自宅で大麻を所持していたとして大麻取締法違反の疑いで20日、逮捕されました。

警察は、ことし3月、「歯科医師が大麻を乱用している」という情報が寄せられたことから捜査してきましたが田中容疑者の自宅を捜索したところ、乾燥大麻およそ10グラムがテーブルの上に置かれているのを発見したということです。

田中容疑者は、「自分で使うために持っていた」と供述し、容疑を認めているということです。警察は入手ルートを調べるとともに、寄せられた情報の内容などからほかにも大麻を所持している歯科医師がいると見て捜査を進めています。

NHK NEWS WEB 2017年5月20日 14時45分

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20170520/k10010988811000.html>

産経ニュース 2017年5月19日

<http://www.sankei.com/affairs/news/170519/afr1705190037-n1.html>

## ▼認知症フレンドリー社会へ向けた取り組み

先般、京都で開催された、認知症に関する国際会議では、認知症の課題に取り組む世界各国の人々が集まって、多くのトピックを議論した。なかでも注目を浴びたのが、認知症の当事者による発信・提言と、それとも深く関係する「認知症フレンドリー社会」への取り組みである。今回は認知症フレンドリー社会へ向けた2つのアプローチと、日本でも進められ、広まりつつある動きについて触れていく。

（以下下記リンク先参照）

Web 医療と介護（2017年5月19日）

<https://info.shaho.co.jp/iryuu/column/201705/1471/>

## ニュースピックアップ

## ▼自分の歯にレンズ埋め、移植して視力復活 豪州の病院

自分の歯にレンズを埋め込み、移植して視力を回復——。こんな珍しい手術が、オーストラリア・シドニーの眼科病院で行われた。手術を受けた2人は、ほとんど物が見えない状態から視力が回復したという。地元紙サンデーテレグラフが16日、伝えた。

同紙によると、手術は、角膜の障害が原因で視力を失った人たちが対象。豪南東部ゴールバーン在住の男性、ジョン・イングスさん（72）と北東部ケアンズの女性レオニー・ガレットさん（50）の2人が受けた。

手術では、最初に2人の歯を抜いて穴を開け、プラスチック製のレンズを埋め込んだ。その歯をほおの内側に縫い付け、3カ月ほどして歯が、抜かれる前のように自ら組織を作ることができるようになった時点で眼球に移植。自分の歯を使うため、移植に伴う拒絶反応は起こらず、2人の視力は復活した。

イングスさんは「手術前には、もう何も見えなくなってしまうのだらうと思っていた」と同紙に語った。同種の手術は南半球では初めて。欧米では手術例があり、主治医の2人は、2004年以降に数件の手術が行われたドイツで学んだ。09年には米国での初めての手術が報道されている。

<アピタル：ニュース・フォーカス・その他>

<http://www.asahi.com/apital/medicalnews/focus/>（シドニー＝小暮哲夫）

朝日新聞アピタル（2017年4月17日）

<http://www.asahi.com/articles/ASK4K21QSK4KUBQU001.html>

## Point of View

◎歯の意外な利用方法があるものですね。それだけ歯というのは生命力が強いという証かもしれません。それにしてもこの方法を思いついた人の発想力に脱帽です。

## ▼VR、ARの次はMR！？ ソフトバンク系、歯科医師の支援システムを開発

ソフトバンクグループのリアライズ・モバイル・コミュニケーションズ（東京）は21日、MR（複合現実）を使った歯科治療支援システムを報道陣に公開した。歯科医がゴーグル状の端末を通して見ると、実際の患者の歯にコンピューターグラフィックス（CG）が重ねられ、神経や血管の位置などを確認しながら治療できる。MRはVR（仮想現実）やAR（拡張現実）とともに需要拡大が見込まれており、特にビジネス向けの活用が期待されている。



新システムは、歯科医療機器を販売するモリタ（大阪府吹田市）と共同で開発した。患者の上部に複数のカメラを設置して位置を把握することで、CT（コンピューター断層撮影）などで得たデータを重ね合わせられる。神経を除去するために歯を削る治療や、失った歯の代わりに人工の歯根（インプラント）を埋め込む治療などに有用とみられる。穴を開けたり削ったりする場合、深さや方向が当初の計画通りに進んでいるかも確認しながら施術できる。MRの活用についてモリタの森田晴夫社長は「診療に使えるようなシステムは世界初だ」と強調した。将来、治療への活用が実現すれば、これまではそれぞれの歯科医が経験と勘に頼っていた部分を可視化できる。経験の浅い歯科医にも高い水準の治療が可能になり、サービスの質の底上げにつながるという。もっとも、実際に治療に使うには改良を重ね、医療機器として公的に認められるようにする必要がある。このため、まずは歯科医の教育向けシステムとして開発を進める。平成31年ごろに大学に納入するなど商用化し、その後、治療への活用を目指す方針だ。

ゲームなどに使われているVRは、仮想世界への没入感が特徴で、「現実と遮断されるために外の情報は扱いにくい」（リアライズの勝本淳之取締役）という。これに対しMRは、ゴーグル型の端末を通して見ると、現実とCGを同じ光景の中に配置できるため、業務支援などにも有用だとみられる。ベンチャー企業のGATARI（東京）は、話した言葉を音声認識で文字に置き換え、文字を自由に配置して遠隔での会議などに利用するMR技術を開発している。それぞれの技術の特徴を生かした効果的な使い方を提示することが、市場の拡大につながりそうだ。（高橋寛次）

■MR 「複合現実」の略で、仮想空間に現実空間を再現し、コンピューターグラフィックスなどの情報を重ねる。ゴーグル状の端末「ヘッドマウントディスプレイ」を装着して体験する。現実と仮想空間を重ねるのはAR（拡張現実）と同じだが、MRは現実空間にも処理を加えて見ることができる。

産経ニュース

2017年4月21日

<http://www.sankei.com/life/news/170421/lif1704210041-n1.html>

## Point of View

◎実物を見ていないので、いまいちピンとこないのですが、「診療に使えるようなシステムは世界初」ということから、将来的な臨床応用に期待が高まります。歯科医が経験と勘に頼っていた部分を可視化できるというのは、素晴らしいことですが、歯科医が実際にMRを使いこなすのは時間がかかりそうです。より使いやすいシステムを構築できるか、今後の動向に注目ですね。

## ▼がん細胞に10分で大穴 日本抗体医薬、3年以内に治験

バイオ医薬ベンチャーの日本抗体医薬（横浜市、成田宏紀社長）が2月に設立され、新しいがん医薬品の開発を進めている。膵臓（すいぞう）がんや卵巣がんの分野で、がん細胞に穴をあけて殺す攻撃力の高い抗体の実用化を目指す。3年以内に臨床試験（治験）に入りたい考え。

■新しい作用で

日本抗体医薬という社名は、やや大風呂敷に聞こえなくもない。しかし、成田宏紀社長は同社の技術について「抗体医薬の開発のプラットフォームになる」と意気込んでいる。

成田氏は、大和証券系のベンチャーキャピタルであるDCIパートナーズの社長を兼任している。ベンチャーキャピタルが起業するのは米国では一般的だが、日本では珍しい。

有望性を見込み、DCIパートナーズが資金を準備して設立した肝煎り企業なのだ。

その技術は、新しい作用でがんを攻撃する抗体薬を作るというもの。順天堂大学医学部の松岡周二助教の研究がもとになっている。

抗体は特定の異物を認識してくっつくたんぱく質で、異物を排除する。抗体は通常、「補体」と呼ばれる成分や免疫細胞の力を借りて排除している。

松岡氏が発見した手法で取り出す抗体は、それらがなくても、単独でがん細胞を排除する。がん細胞にくっくと、10分前後で大きな穴をあけ、破裂させて殺傷する。

このような抗体は例がない。免疫細胞が弱ってしまった末期がんの患者でも、治療が可能だ。

特殊な抗体は以下の方法で作られる。

まず、マウスに患者のがん細胞Xを移植する。例えば肝臓がんの細胞だ。2週間ほどするとマウスの中でXを攻撃する力がつく。次に肺がんなどの細胞Yを移植する。すると今度はYを攻撃する力がつく。

これを繰り返すと、マウスのなかで、XもYもともに攻撃する抗体がつくられるようになる。

次に、治療したい卵巣がんや膵臓がんの細胞Zをあつかう。Zに対し、XもYも攻撃する抗体を作る細胞をランダムにふりかけると、Zのどれかに穴が空いて死ぬ。そのZをやっつけた抗体こそが当たりだ。その抗体を取り出して薬にする。

患者から取り出した細胞Zをマウスに入れて、抗体をつくることは簡単にできる。ただ、Zを提供したがん患者にしか効かず、同じ病気の他の患者には使えないケースが多い。

松岡氏の手法は、様々な患者が持つがん細胞Zに効く抗体を探せるという。

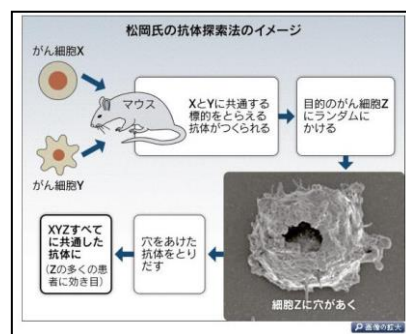
松岡氏がこの作用を持つ抗体を発見したのは22年前。「がん細胞の死に方で、大きな穴が空くのを見たのは初めてだった」と振り返る。

▼抗体医薬 特定の異物を認識してくっつき、様々な作用で異物を排除する「抗体」を利用したバイオ医薬品。通常、標的となる異物のたんぱく質を認識して結合すると、免疫細胞や「補体」を呼び寄せ、それらががん細胞を攻撃して死滅させる。ミサイルのように狙った標的にピンポイントで届かせることができ、治療効果が高く副作用が少ないとされている。

ただし、通常の開発方法では抗体医薬の標的にするたんぱく質の選び方が難しく、また標的に結合しても必ずしも効果を発揮するわけではなく開発は容易ではない。がん免疫薬の「オプジーボ」や、多種類の血液がんで使用される「リツキシマ」などのように、全世界で数千億円を売り上げるものが多い。

日本経済新聞 電子版 (2017/4/27)

<http://www.nikkei.com/article/DGXKZ015768540W7A420C1X91000/>



### Point of View

◎いわゆる免疫療法の一つと言えます。ただ、これまでのものとは違って、より強力な作用があるので、実用化されればかなり有効な治療手段になるかもしれません。

## ▼皮膚がん抑制物質発見

皮膚がんの一種の悪性黒色腫（メラノーマ）細胞の増殖を抑える新たな化合物を発見したと、近畿大の杉浦麗子教授（ゲノム創薬）のチームが9日、発表した。がん化した細胞を標的に作用するため、正常な細胞への影響が少なく、副作用の少ない新規の抗がん剤開発につながる可能性があるとしている。チームは特定のメラノーマ細胞で、がん細胞の増殖に関わる酵素「MAPキナーゼ」の一種が異常に活性化している点に注目。独自開発した化合物の探索システムを使い、MAPキナーゼの働きを調整できるものを調べた結果、「ACA-28」という化合物が見つかった。

人のメラノーマ細胞を用いた培養実験で、ACA-28にはメラノーマ細胞の増殖を抑制したり、アポトーシスと呼ばれる細胞死を引き起こしたりする働きがあることが分かった。メラノーマは早期に転移し、悪性度や致死率が高いがんの一つ。杉浦教授は、ACA-28の臨床応用に向け、抗がん作用が起きる詳細な仕組みの解明や、人の体内で安定して効果を出せるかなどの課題を挙げ、「治療の選択肢の一つになるように研究を進める」と話した。

産経ニュース 2017年5月9日

<http://www.sankei.com/life/news/170509/lif1705090047-n1.html>



### Point of View

◎悪性黒色腫細胞の増殖を抑える、新たな化合物を発見したとの報告です。まだ、直接的な臨床応用にはつながりにくいと思われますが、がん化した細胞を標的に作用するため、正常な細胞への影響が少ないことから、新規の副作用の少ない抗がん剤の開発を期待できるのではないのでしょうか。今後注目ですね。

## ▼がん対策、予防と早期発見を強化 厚労省、基本計画の素案示す

厚生労働省は13日、本年度から始まる第3期がん対策推進基本計画の素案を専門家会議に示した。「予防」と「治療」、患者の就労支援などの「がんとの共生」が対策の3本柱となる。早期発見で死亡率減少を目指す取り組みを強め、がん検診で問題が見つかった人の精密検査の受診率を90%に高めることを目標とする。

基本計画は、国のがん対策の方向性を定めるもので今後6年間の対象。厚労省は夏までに策定する方針。

がん検診では、検診後に精密検査を受ける人が65~85%にとどまっており、確実に治療につなげることが重要とした。たばこや飲酒などの生活習慣上での予防も重視する。

47NEWS 2017年4月13日

<https://this.kiji.is/225164296816033796?c=39546741839462401>

### Point of View

◎がん検診を受けた後に問題が見つかった人で、精密検査を受ける人が、65~85%にとどまっているようです。厚生労働省はこの受診率を90%に高めることにより、がんの予防と早期発見を強化しようという考えです。歯科においても、現在は節目健診や妊婦健診がありますが、さらに健診の機会を増やして、予防と早期発見を強化した方が良いと思います。

## ▼血栓症治療薬、熾烈な競争 企業と医師が不適切関与か

製薬企業と医師との「不適切な関与」が疑われる事案がまたも発覚した。バイエル薬品によるカルテの無断閲覧では、社員が「アンケート」を名目に自社製品をアピールする意図がうかがわれた。厚生労働省によると、人の健康に大きな影響を与える医薬品の広告や宣伝は、法律で厳しく規制されている。医師の処方箋が必要な医薬品について効能や効果を宣伝することは禁止されており、直接の商品名でなく会社や病気について理解を求める内容の宣伝が流されているのはそのためだ。

製薬企業は自社製品について、医療機関に情報提供する必要があるが、過剰な接待や利益提供は業界の自主基準で規制されている。ただ、業界が自主基準を厳格に順守しているとは言い難い。東大病院などで行われた白血病治療薬をめぐる臨床研究では、複数の製薬企業の社員が資料を作成したり研究計画に関わったりする不適切な関与をしていた。高血圧治療薬「ディオバン」の臨床研究事件では、研究にノバルティスファーマの社員が関わり、データに関与したとされる。事件を受け、不正を防止する臨床研究法が7日、成立。ただ、今回のアンケートのように、臨床研究の形を取らない場合は法律の対象外だ。研究不正に詳しい医療ガバナンス研究所の上昌広理事長は「血栓症治療薬はライバルの多い熾烈（しれつ）な業界。だが、医師には患者の情報を守る守秘義務があり、カルテを見せるなどあってはならない」と話している。

産経ニュース 2017年4月11日

<http://www.sankei.com/life/news/170411/lif1704110036-n1.html>

### Point of View

◎企業の研究への関与は、過去にも問題になったことから、不正を防止する臨床研究法が示されましたが、「臨床研究関与」をしていない場合などには適用されず、検討の余地がありそうです。今回は、アンケートの形で、カルテの閲覧が行われており、不正と認定するのは難しい可能性があります。カルテの閲覧に伴う個人情報の保護の観点からは、違法となりそうです。我々も、内部・外部を問わず、情報の漏えいや無断閲覧について、きちんとした対処をしていかなければなりませんね。

## ▼首相「新しい医療を評価」 高齢化・人手不足に対応

安倍晋三首相は14日、政府の未来投資会議で「新しい医療を次の診療報酬改定でしっかりと評価する」と表明した。2018年度の診療報酬・介護報酬の同時改定で、電子機器を使って遠隔からデータを集めるオンライン診療を優遇する方針。介護現場にロボットやセンサーの導入を促す仕組みも作り、高齢化と人手不足に対応する。

診療報酬では、かかりつけ医が情報通信技術（ICT）を使って患者からのデータを定期的に受け取り、健康指導や疾病管理の質を高めるオンライン診療を優遇する。日本医師会の横倉義武会長も「日本医師会はICTの活用に後ろ向きではない」と応じた。

介護でもデータ活用に力を入れる。どんなリハビリや介助で症状が改善したかのデータを集め、効果の高い介護モデルを作る。ケア記録を自動で取る機器が現場の負担軽減と介護のモデル作りの両面で効率化につながると見て導入を促す。効果が裏付けられたサービスを提供する事業所は厚生労働省のウェブサイトで公表。事業者間の競争で質の向上につなげる。

人手不足の解消につながる介護ロボットや見守りセンサーの活用も、介護報酬や人員配置基準の優遇対象とする。

政府は医療・介護にICTを活用し、集めたデータを一元管理するシステムも20年度までに本格稼働させる。医療・介護・健康など縦割りでバラバラのデータを生涯を通して一元的に管理できるようにする。集約した情報を使って、新薬や民間サービスの創出に活用するほか、従業員の生活習慣の改善に貢献した保険者を優遇する評価にも使う。

日本経済新聞 2017年4月14日

[http://www.nikkei.com/article/DGXLASFS14H6U\\_U7A410C1EA4000/](http://www.nikkei.com/article/DGXLASFS14H6U_U7A410C1EA4000/)

#### Point of View

◎安倍首相は次回の診療報酬改定で、新しい医療をしっかりと評価すると表明したようです。介護ロボットなども、人手不足の解消につながるということから、優遇対象となるようです。歯科においても人手不足が問題となっています。診療のバキューム等をやってくれるアシスタントロボットが出来れば人手不足も多少は解消されるのではないのでしょうか。

## ▼大卒求人倍率 1.78 倍、学生の「売り手市場」続くリクルート

リクルートホールディングスのリクルートワークス研究所が26日発表した、企業の求人数を就職希望者数で割った大卒求人倍率は1.78倍となり、前年から0.04ポイント高まった。好業績や人手不足を背景に企業の採用意欲が高く、学生優位の「売り手市場」は続く。ただ、従業員数が5000人以上の大企業では求人倍率が1倍を割っており、業種や企業規模によってまだ模様となっている。全国の民間企業の求人総数は75万5000人と、前年から2万1000人増加した。一方、民間企業への就職を希望する学生は42万3000人で1000人の増加にとどまった。

学生の大手志向が一層強まっている。企業規模別に見ると、従業員数が5000人以上の企業では求人総数が1%減の4万9000人だったのに対し、就職希望者は12万4000人で48.9%増加した。求人倍率は0.2ポイント低下の0.39倍だった。

一方、300人未満の中小企業では求人数が3.9%増に対して就職希望者が33%減り、求人倍率が2.29ポイント高い6.45倍となった。5000人以上の大企業と、300人未満の中小企業の求人倍率の格差は6.06ポイントとなり、リーマン・ショックの影響が表れる直前で、比較可能な10年春卒に次ぐ大きさとなった。同日、記者会見したリクルートワークス研究所の戸田淳仁主任研究員は「中小企業では人手不足のなか中途採用で充足できない分を新卒で補おうとして、求人数が増えているのではないかと分析している。

日本経済新聞 2017年4月26日

[http://www.nikkei.com/article/DGXLASDZ26H98\\_W7A420C1000000/](http://www.nikkei.com/article/DGXLASDZ26H98_W7A420C1000000/)

#### Point of View

◎大卒の有効求人倍率が高まっており、学生優位の売り手市場となっているような世の中になっているようです。しかし、求人倍率が高いのは中小企業のみで、大企業では求人倍率は低下しています。みんなが、大企業に行きたがっているだけで、中小企業は人手不足で苦しんでいるのがわかります。歯科開業医も規模は小さいものが多く、中小企業同様、人材の確保に苦しんでいる傾向がありそうです。

## ▼「給料より休日」初めて上回る 新入社員意識調査 私生活重視の「自分ファースト」

会社に望むのは給料が増えることより、休日が増えること。今年度の新入社員が「働き方」を重視する傾向にあることが、三菱UFJリサーチ&コンサルティングが9日、公表した意識調査で明らかになった。「給料」を「休日」が逆転したのは平成16年度の調査開始以来初めてで、同社は「会社に尽くすので

はなく私生活を重視する『自分ファースト』のライフスタイルだ」と分析している。

調査は同社が実施する新入社員セミナーの参加者を対象に、3月下旬～4月上旬に約1300人から回答を得た。

新入社員が会社に望むことは「人間関係が良い」が最多で、次いで「自分の能力の発揮、向上ができる」。ただ、能力の発揮や向上を望む新入社員の割合は減少傾向で、今年度は初めて6割を下回った。その一方で「残業がない、休日が増える」ことや「私生活に干渉されない」ことを望む割合は増加傾向だった。

また、理想の上司としてもっとも支持を集めたのは、成長を忍耐強く見守ってくれる「寛容型」。論理的で責任感の強い「論理型」や何事にも熱心な「情熱型」はあまり支持されなかった。

Yahoo News 2017年5月9日

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20170509-00000538-san-soci>

#### Point of View

◎今年の新入社員は「給料が増えるより、休日が増えること」を望んでいるようです。つまり、会社に尽くすよりも、私生活を重視するようです。また、理想の上司としては、成長を忍耐強く見守ってくれる「寛容型」を望んでいるようです。会社（歯科医院）に尽くすよりも自分を重視する人（スタッフ）が増えると、経営する側（院長）にとっては運営が難しくなってくることでしょう。私生活を重視することは大切ですが、会社があつての私生活だということもわかっているのでしょうか。

## ▼短期間で死に至る原因不明の病気、集団発生…リベリアで13人死亡

【ジュネーブ＝笹沢教一】アフリカ西部のリベリアで4月下旬から、死亡率が高く短期間で死に至る原因不明の病気が集団発生している。

世界保健機関（WHO）は、緊急対策チームを派遣するなど警戒を強めている。

WHOによると、病気は同国南部で発生。4月下旬の最初の報告から5月9日までに、31人が下痢や嘔吐おうとなどの症状を訴え、13人が死亡した。10日には、死者のうち4人から髄膜炎菌C型の陽性反応が出たことが明らかになったが、WHO当局者は「米疾病対策センター（CDC）などの専門機関の判断を待ちたい」として、原因特定には慎重な姿勢を示している。

リベリアでは2014年、エボラ出血熱が流行した。しかし今回は、エボラ出血熱の陽性反応は出ていない。患者には宗教指導者の葬儀に参列していたという共通点があると言われるが、病気との因果関係は不明だ。

yomiDr（2017年5月15日）

[https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20170515-0YTET50029/?catname=news-kaisetsu\\_news\\_kenko-news](https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20170515-0YTET50029/?catname=news-kaisetsu_news_kenko-news)



#### Point of View

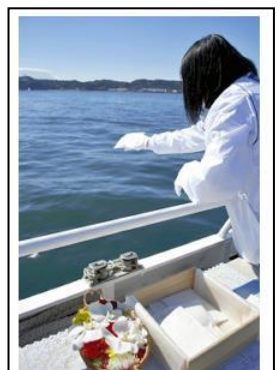
◎新手指の感染症でしょうか。やがて元となっているものが判明するのでしょうか、そこから治療法の開発が始まるわけですから、解決にはかなり時間がかかりそうです。

## ▼子に迷惑かけず・故郷見える所に…「海に散骨」広がる

少子高齢化や未婚率の増加などから、遺骨を粉末状にして海にまく「海洋散骨」が急増している。墓地を返す「墓じまい」をするため、業者には、先祖の遺骨も一緒に散骨する依頼が増えている。2040年に年間死者数が約168万人になると推計されるなか、供養のあり方も多様化しているようだ。

海洋散骨を専門に行う「メモリアルスタイル」（東京都江東区）は、毎月20回ほど東京湾や相模湾などを中心に全国で散骨を行っている。専用借りたクルーザーで出航。花びらをまき、家族からのメッセージなどを記した水に溶ける短冊や清酒などとともに、水に溶ける袋に入れた粉末状の遺骨を海中へ。散骨場所は、漁場や観光船に配慮して選んでいる。

同社が海洋散骨を手がけたのは2010年秋から。利用件数は11年の42件から16年には437件で、今は毎月約40件の依頼がある。生前に申し込むなど故人の



家族らに代わり、専門業者が遺骨を海にまくケースも増えている（神奈川県観音崎沖で）



意思が約7割で、女性の申し込みが多いという。

費用は、数組の遺族と一緒に参加する合同散骨で12万円。家族が乗船せず、社員が全てを行う代行散骨は5万円で、全体の約3割を占める。親族らで船を借り切る方法もある。

身寄りのない高齢者の散骨も増え、現在は全体の約1割を占めるという。最期をみとった介護士らが「生まれ故郷が見える場所にまいてほしい」など故人の要望を添えて、申し込むケースが目立つ。「墓じまい」後の散骨も年間約50件ある。

3月に散骨体験会に夫婦で参加した東京都江東区の女性(58)は「お墓の管理などで子どもに迷惑をかけたくない。私たちを含めて海洋散骨にしようと思う。お墓に入らないことに抵抗はない」と話していた。

13年夏から代行散骨のみを行っている「ユニクエスト・オンライン」(大阪市)への依頼も、14年の221件から16年に370件に増えた。同社は「お墓をどうしようかと真剣に考える人が急に増えた」とみる。

シニアの利用が多い旅行会社「クラブツーリズム」は12年から、死後の手続きや墓じまいの手順などを解説する終活講座を開催。墓を継ぐ人がいなくても利用できる海洋散骨や樹木葬などの講座は特に人気という。最近では葬送の現場を訪れるツアーも実施する。

散骨に関して、厚生労働省の担当者は「墓地埋葬法の規定はない」と説明する一方で、自治体が規制を設ける動きもある。海洋散骨について、静岡県熱海市や伊東市は漁業や観光地としてのイメージダウンなどを懸念して、陸地から10キロメートル前後までの自粛を求めた指針を作成。粉末状にした骨を山林など指定された地域にまく「散骨場」を規制する自治体も多い。

yomiDr (2017年4月21日)

[https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20170421-0YTET50011/?catname=news-kaisetsu\\_news\\_senior-news](https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20170421-0YTET50011/?catname=news-kaisetsu_news_senior-news)

◎遺骨供養の主な種類	家墓	埋葬許可	原則必要	継ぐ人がいる限り使用できる。管理料必要
	納骨堂		必要の場合と、不要な場合がある	霊園や墓地内で遺骨を保管する
	樹木葬	不審	原則不要	遺骨を埋めた場所に墓石の代わりに花や木を植える
	永代供養墓			霊園や墓地の一面に他の人の遺骨と一緒に埋葬する
海洋散骨			粉末状にして海にまく(一部地域で規制あり)	
散骨場			粉末状にして山林などにまく(規制を設ける自治体も多い)	

※業界団体の資料と厚生労働省への取材から作成

🔍 画像の拡大

#### Point of View

◎葬送に対する考え方も時代とともに変わりつつあるようです。大枚をはたいて購入した墓地に静まっても、果たして何代先の子孫まで管理してくれるのだろうかと不安に駆られることも多いのではないのでしょうか。

## ▼勤労世代のがん死に職業差 サービス、管理職で高く

勤労世代の男性の肺、胃、大腸がんによる死亡率は、サービス職や企業・役所の管理職などで比較的高いとする研究結果を、北里大の江口尚・助教、国立国際医療研究センターの和田耕治医師(いずれも産業保健学)らがまとめた。これらのがんは男性のがん死原因の1~3位で、国が推奨する有効な検診がある。江口さんは「死亡率が高いとされた職業では特に、雇用者や業界団体が検診を受けやすい体制を整え、職場環境を見直すなどの対策に力を入れるべきだ」と話している。研究は、厚生労働省による人口動態職業・産業別統計(平成22年)のデータを利用。25~64歳の男性の死因と、死亡時の職業を解析した。その結果、健康管理が比較的進んでいるとされる工場労働者ら「生産工程職」に比べ、飲食や美・理容、介護業界などで働く「サービス職」では3種のがんの死亡率は3~4倍、「管理職」は2~3倍。「農林漁業職」のほか、ITや医療関係などを含む「専門技術職」も約2倍と高かった。なぜこれらの職業で死亡率が高いのか、今回の解析だけでは判明しない。しかし、江口さんによると、いくつかの原因が推定できる。

例えば、夜間のシフト制勤務は過去の研究でがん発症との関係が指摘されているが、飲食関係などでは夜間勤務が多い業態も珍しくない。管理職は1人当たりの部下が増え、現場と管理を両方任される「プレーイングマネジャー」化が進みストレスが高まっており、農林漁業では個人事業主が多く、大企業のように健康管理が行き届かないなど、職業に固有の事情がありそうだという。

産経ニュース 2017年4月18日

<http://www.sankei.com/life/news/170418/lif1704180019-n2.html>

#### Point of View

◎がん死に職業差がある可能性があるとの報告ですが、どのような因子によるものかという事については明らかにされていません。サービス業や管理職で高く、医療関係においても、高い水準を示しているとの事ですが、ストレスが関係している可能性は高そうですね。体が資本、早期発見早期治療が大切ということで、定期検診は必須なのかもしれませんね。

## FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」

FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオスタート  
「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から



### 6月7日放送

#### むし歯にならないためには

どうしてむし歯になるのか？そして、むし歯にならないためにはどうすればよいか？  
具体的に、歯ブラシ方法や食生活習慣、その他に何を注意すればよいかについて、広島市歯科医師会広報部のはっしーがお話しします。  
お口に関する悩みや質問はメール dental@chupea.fm、  
ファクス 082 (297) 7660 へ。

### 6月21日放送

#### 続・むし歯にならないためには

前回に続き、むし歯にならないためにはどうすればよいか？について、さらに具体的に、歯とお口の管理方法や注意点、また生活習慣は何に気を付ければよいかを、広島市歯科医師会広報部のはっしーがお話しします。  
お口に関する悩みや質問はメール dental@chupea.fm、ファクス 082 (297) 7660 へ。

## 5月定例理事会報告

### 「部外報告」

- 4月28日 再審査
- 5月9日 学校保健会第1回理事会
- 5月16日 広島圏域地域医療構想調整会議  
平成29年度第1回会議
- “ 平成29年度第1回歯周病予防  
普及啓発事業実行委員会
- 5月21日 第68回指定都市学校保健協議会  
(堺市)
- 5月23-29日 社保診療報酬審査  
(合議29日)

### 「総務関係」

- 5月10日 救急蘇生研修会
- 5月12日 歓送迎会
- 5月18日 創立100周年記念事業準備委員会  
第3回会誌編纂委員会
- 5月21日 第2回4地区歯科医師会親善  
ゴルフコンペ
- 5月22日 会計監査及び予算説明
- 5月23日 三役会
- 5月24日 定例理事会

### (慶弔関係)

- 5月4日 西区支部 高橋美次先生ご逝去
- 5月5日 東区支部 渡辺正志先生  
ご母堂様ご逝去

### (県歯理事会関係)

- 5月11日 県歯理事会

### (1) 総務部 (本山理事)

- 4月28日 警察歯科小委員会
- 5月10日 救急蘇生研修会・学術講演会
- 5月11日 総務部・学術部合同委員会
- 5月12日 職員歓送迎会
- 5月16日 総務部小委員会
- 5月22日 会計監査
- 5月23日 三役会

### (2) 学術部 (本山理事代行)

- 5月10日 救急蘇生研修会・学術講演会
- 5月11日 総務部・学術部合同委員会

### (3) 保険・医療対策部 (瓜生理事)

- 4月27日 審士会
- 5月10日 (県)保険部常任委員会
- 5月12日 事務局歓送迎会
- 5月16日 (県)歯科医療保険連絡協議会
- 5月17日 定例委員会
- 5月18日 国保連合会歯科再審査部会
- 5月19日~23日 国保連合会歯科審査部会
- 5月21日 第2回4地区歯科医師会親善  
ゴルフコンペ

5月23日 国保連合会審査員終了式

**(4) 地域歯科保健部**

5月10日 救急蘇生研修会

5月12日 歓送迎会

5月17日 (県)地域保健部、学校保健部、  
介護・福祉医療部、口腔保健セ  
ンター一部常任委員会

5月18日 定例委員会

**<学校保健> (有馬理事)**

5月9日 平成29年度広島市学校保健会総会  
及び第1回理事会

5月11日 広島市こども未来局と面談

5月16日 南区地域ケアマネジメント会議

5月18日 広島市食育推進会議と面談

5月21日 第68回指定都市学校保健協議会  
(堺市)

- ・平成29年度定期健康診断(歯・口腔)  
について
- ・平成28年度学校歯科健診の結果について
- ・用語について「健診」と「検診」
- ・平成30年度のダブルミラー・グローブ調査  
について
- ・広島市立保育園でのダブルミラー・グローブ  
対応について
- ・ちゅーピー子ども新聞「歯の学校」の新しい  
企画について

**<地域連携> (小松理事)**

4月27日 (県)舌筋等トレーニングによる  
口腔機能向上事業(仮称)にかかる  
打合せ

5月1日 (県)平成29年度8020運動推進  
特別事業 スポーツ歯科を通じた  
県民の健康づくり支援事業  
第1回内部準備会議

5月2日 休日診療レセプト点検

5月10日 広島市地域包括ケア推進課との  
協議

5月11日 江波地域包括支援センター主催  
「いきいき倶楽部」

〃 広島市中区健康長寿課との打  
合せ

5月15日 (中区地対協)第8回吉島多職種  
連携会議第2回小委員会

5月19日 (県)舌圧トレーニングによる  
口腔機能向上事業(仮称)  
について広島市中区健康長寿課  
との協議

〃 介護予防事業に携わる専門職の

人材育成研修に関する意見交換会

5月21日 (中区地対協)平成29年度中区  
地域包括ケア推進フォーラム

5月22日 中区地域ケアマネジメント会議

5月23日 平成29年度第1回広島市在宅医療・  
介護連携推進員委員会

**<地域保健> (能美理事)**

5月9日 平成29年度広島市学校保健会総会  
及び第1回理事会

5月15日 東区地域ケアマネジメント会議

5月16日 歯周病予防普及啓発事業実行委員会

5月21日 第2回4地区歯科医師会親善  
ゴルフコンペ

5月22日 FMちゅーピー収録

**(5) 広報部 (橋岡理事)**

4月27日 広島ホームテレビ収録  
(ドライマウスについて)

5月1日 委員会

5月2日 FMちゅーピーと協議(堀部様)

5月9日 委員会(情報発信部)

〃 広島ホームテレビと協議(秦様)

5月15日 広島ホームテレビと協議(秦様)

5月16日 委員会(情報調査部)

5月18日 創立100周年記念事業準備委員会  
第3回会誌編纂委員会

5月21日 第2回4地区歯科医師会親善  
ゴルフコンペ

5月22日 FMちゅーピー収録  
(地域歯科保健部 谷巖範氏)

FMちゅーピー(新聞掲載)

5月17日 「歯科医師会会員って何？」  
熊谷 宏副会長(市歯会)

5月31日 「第33回 おくちの健康展について」  
谷 巖範氏(市歯会)

**(6) 広島市歯科医師会ホームページについて**

ホームページアクセス数

一般サイト 訪問者1,276(累計33,864)

ページビュー6,065(累計160,122)

会員サイト 訪問者201(累計18,032)

ページビュー713(累計174,326)

広報部…Talking Heads<最新情報>

掲載件数 45件(4/21~5/20)

**(7) 特別委員会**

**(8) 救急蘇生委員会**



(9) 創立 100 周年記念事業について  
5月18日 創立 100 周年記念事業準備委員会  
第 3 回会誌編纂委員会

(10) 各部事業計画について

(11) 歯科医療安全相談  
5月 2日 苦情 節目健診について  
(30 歳代女性)  
5月 6日 苦情 休日診療のHP案内について  
(40 歳代男性)  
5月 9日 相談 治療と対応について  
(30 歳代女性)  
5月16日 相談 歯周病対応の歯科医院について  
(50 歳代男性) 来館

#### 「協議事項」

- (1) 入会について(2名)  
2名継続審議中
- (2) ICTフェスティバル後援について  
内容について確認・協議
- (3) 戸坂小学校の学校歯科医、戸坂保育園  
の嘱託医の選任について

小松泰雄先生の退任に伴う戸坂小学校の後任に白神葉子氏を、戸坂保育園の後任に野坂覚氏を推薦する事を承認

- (4) アンケートについて  
アンケート内容について協議
- (5) 第 33 回「おくちの健康展」について  
第 33 回「おくちの健康展」について  
最終確認
- (6) 産業医について  
内容について検討・協議
- (7) 第 110 回定時総会議案について  
内容について確認・協議
- (8) クリスマスパティーについて  
内容について検討・協議
- (9) 事務局労働環境整備について  
内容について確認・検討
- (10) その他  
特になし

#### 「その他」

特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事橋岡優までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局 E-Mail: [hiroshima@dentalpark.net](mailto:hiroshima@dentalpark.net)

広報部担当理事 橋岡優 E-Mail: [s.d.c@helen.ocn.ne.jp](mailto:s.d.c@helen.ocn.ne.jp)

広島市歯科医師会ホームページ <http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ PASS : 2442662

#### 新会館の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里 3 丁目 2 番 4 号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672

